

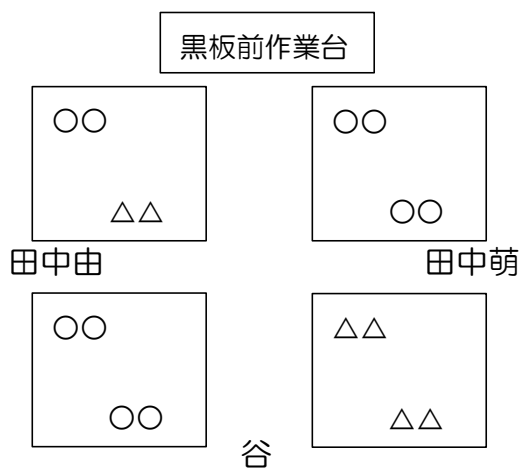
窯業科作業学習 学習指導略案

『単元名』 『題材名』	『1・3年生合同作業』 『輪花小鉢製作』	日時	令和6年9月9日(月) 2～4校時	場所	1班 実習室 2班 美術室
学習集団	1・3年窯業科 全 15 名	授業者	1 班○田中由、田中萌、谷 2 班○佐野、西島、長澤卓		
本時の ねらい	・就労場面を想定し、異年齢集団での礼儀やコミュニケーションの方法を知る（1・3年生） ・他者から学ぶ際の望ましい態度や受け答えを知る（1年生） ・後輩の手本となる意識を持ち、責任をもって作業内容をレクチャーする（3年生）				
授業の視点 ※該当となる項目 にチェックを付け てください	主体的な学び	対話的な学び		深い学び	
	☐ 興味や関心を高める ☒ 見通しを持つ ☒ 自分と結びつける ☐ 粘り強く取り組む ☐ 振り返って次へ繋げる	☐ 互いの考えを比較する ☒ 多様な情報を収集する ☐ 思考を表現に置き換える ☒ 多様な手段で説明する ☐ 先哲の考えを手がかりとする ☒ 共に考えを創り上げる ☐ 協働して課題解決する		☐ 思考して問い続ける ☒ 知識・技能を習得する ☒ 知識や技能を活用する ☐ 知識や技能を概念化する ☒ 自分の考えを形成する ☐ 新たなものを創り上げる	
学習内容	生徒の活動		教師の活動		教材・教具
前日に事前 準備	※美術室に道具を移動しておく。		※授業後半に、道具を美術室に運び、棚の中に保管し ておく。 タオル、さらし、ボウル(小)、さん板(小)、へら、切り針、石 膏型、切り金、型紙、筆、定規、たたら板(7mm) 計7名分		
あいさつ 9:50 作業開始 10:00	※1年生が教室に来たら、3年生が座席に 誘導する(別紙1)。時間があれば、道具 の準備をする。 ○本時の説明 ・各教室のリーダー、副リーダーが前に出 て、あいさつ説明を行う。		※MT、ST は生徒の様子を見守り、必 要に応じて指導・助言を行う。 ※基本的に3年生主体的に活動する ことができるよう、伝えているが、 判断ができない場合等、教師に相談 するよう伝えている。		工程表 長板 粘土 バケツ等 輪花小鉢の 道具一式
	○道具のチェック ・1年生が道具を準備したら、3年生が指 さして確認を行う。		※石膏が人数分ないので、工程(6)～ は一つを1・3年生で一緒に行う。 (3年生には指導済み) →各工程の確認作業は、ペアの3年生 が行い、完成品は田中由（美術室は 佐野 t）が最終チェックを行う。		
	○成形				
	3 年生	1 年生			
	・工程表に沿って、 一つ一つ手本を見 せ、ペアの1年生に やるよう言葉をかけ る。 ・1年生に質問され たときは、分かるこ とは自分で答え、分 からないときは先生 に確認をする。 ・作業確認は3年が 行う。	・3年生の説明の 聞いた後、自分でも 作業する。 ・分からないこと は、ペアの3年生 に聞く。 ・作業が終わった らペアの3年生に 確認の報告を行う。			

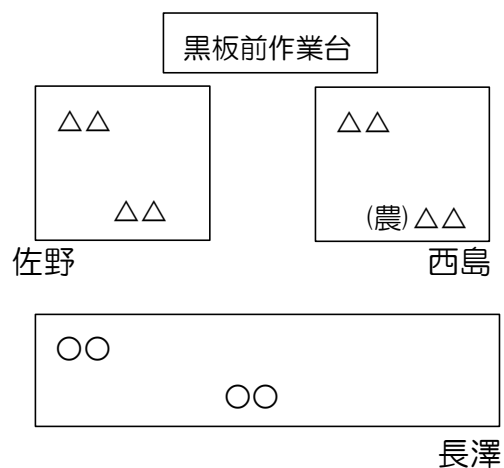
片付け、清掃 11:35 (美術室は11:30)	○片付け ・3年生が綺麗に拭けているか確認するため、1年生は確認の依頼をする。 ・全ての道具が片付け終わったら、清掃を行う。 ○清掃 ・通常と同じように、机上が片付いたら、清掃を始める	→道具が拭けているかの確認は3年生が行うため、巡視しながらチェックを行い、気づいていないときは3年生にそっと伝える。	
反省、あいさつ 12:00	○反省、あいさつ ・各教室のリーダー、副リーダーが前に出て、進行する。 ・先生たちから感想を聞く。 ・あいさつ	※清掃時の役割は決めないで、生徒が主体的に動けるよう、言葉をかける。 ※日誌については、活動内に行えないため、各学年で取り扱ってもらう。	

別紙1

【実習室】 生徒8名



【美術室】 生徒7名



ごとうさぎょうがくしゅう だいほん
合同作業学習の台本

※美術室で使用する道具を、前日に準備しておく。

授業開始前：ペアの人は1年生を席まで案内する。	
3年生 〈 〉	「気をつけ、これから1・3年生の合同作業学習を始めます。」 「(実習室) 田中先生お願いします。」 / 「(美術室) 佐野先生お願いします。」
実習室 田中 美術室 佐野	「今日は1・3年生の合同作業学習の日です。社会に出てからは年齢の違う人たちと一緒に働いていかなければなりません。お互いに礼儀やマナーを守って接することが職場で仕事するための基礎になります。今日はその練習の場だと思い、先輩後輩に対しての礼儀や思いやりをもって、活動してください。」 「これから、1・3年生と一緒に輪花小鉢を作って交流していきます。」 「それぞれ、グループの先輩に教えてもらいながら、取り組んでください。」
3年生 〈 〉	「それぞれ、ペアの人と一緒に、道具の準備をして、作業を開始してください。」
全員で	「(元氣よく) はい！」
3年生	「一緒に道具の準備をしましょう。ついてきてください」 道具がそろったら、工程表にそって一つずつ手本を見せ、1年生にやってもらう 「道具を確認します。粘土板、タオル2枚・・・・・・・・」 「では、道具がそろったので、作っていきましょう。まずは私が手本を見せるので、その後みなさんもやってみてください。」 「(1) 粘土を切り糸で4 cmに切り、叩いて長方形に整える。をやります」→手本を見せる 「やってみてください」 〈1年生の作業の様子を見て、アドバイスや褒める言葉を言う〉 【 】
3年生	「次に(2) 粘土を叩いて楕円の形にする。をやります」→手本を見せる 「やってみてください。」 〈1年生の作業の様子を見て、アドバイスや褒める言葉を言う〉 【 】
3年生	「次に(3) たたら板を横に置き、のし棒を使って5mmに伸ばす。型紙を乗せながら確認する。をやります」→手本を見せる 「やってみてください」 〈1年生の作業の様子を見て、アドバイスや褒める言葉を言う〉 【 】

3年生	「次に（４）粘土^{ねんど}と石膏型^{せっこうがた}に粉^{こな}をふる。をやります」→手本^{てほん}を見せる 「やってみてください」 〈1年生の作業^{さぎよう}の様子^{ようす}を見て、アドバイス^ほや褒める^{ことば}言葉を言う〉 【】
3年生	「次に（５）型紙^{かたがみ}に合わせて、切り針^{きりばり}をねかせて切る。をやります」→手本^{てほん}を見せる 「やってみてください」 〈1年生の作業^{さぎよう}の様子^{ようす}を見て、アドバイス^ほや褒める^{ことば}言葉を言う〉 【】
3年生	「次に（６）石膏型^{せっこうがた}の上に粘土^{ねんど}を置いて、石膏型^{せっこうがた}の真ん中^{まなか}に合わせる。をやります」 「ここからは一緒にやっていきましょう」 「私が石膏型^{せっこうがた}に粘土^{ねんど}を置くので、真ん中^{まなか}に合せているか、一緒に^{いっしょ}確認^{かくにん}しましょう。」 〈1年生の作業^{さぎよう}の様子^{ようす}を見て、アドバイス^ほや褒める^{ことば}言葉を言う〉 【】
3年生	「次に（７）ろくろを回しながら、上側^{うえがわ}から順番^{じゅんばん}に手で粘土^{ねんど}を押さえて、下まで石膏型^{せっこうがた}に密着^{みつちゃく}させる。を一緒にやってみましょう。」 「（3年生が2回したら）同じようにやってみてください。」 〈1年生の作業^{さぎよう}の様子^{ようす}を見て、アドバイス^ほや褒める^{ことば}言葉を言う〉 【】
3年生	「次に（８）糸^{いと}っている粘土^{ねんど}は指^{ゆび}を使って少しずつしめて、密着^{みつちゃく}させる。を一緒にやってみましょう。」 「（3年生が2回したら）同じようにやってみてください。」 〈1年生の作業^{さぎよう}の様子^{ようす}を見て、アドバイス^ほや褒める^{ことば}言葉を言う〉 【】
3年生	「次に（９）スポンジの上から手で上側^{うえがわ}→中間^{ちゅうかん}→下側^{したがわ}を軽く押さえる。を一緒にやってみましょう。」（砂袋で軽くおさえる） 「（3年生が1回したら）同じようにやってみてください。」 〈1年生の作業^{さぎよう}の様子^{ようす}を見て、アドバイス^ほや褒める^{ことば}言葉を言う〉 【】
3年生	「次に（10）トースカンで下から^{センダートル}8cmのところを切る。を一緒にやってみましょう」 「まずはトースカン^{センダートル}を8cmの高^{たか}さに合わせます。（3年生がやってみせる）」 「次にトースカン^{センダートル}をさして、ろくろを動かしながら切ってみましょう。」 「（3年生が半分^{はんぶん}までやったら）ここからはやってみてください。」 〈1年生の作業^{さぎよう}の様子^{ようす}を見て、アドバイス^ほや褒める^{ことば}言葉を言う〉 【】
3年生	「次に（11）凹^{へこ}んでいる部分^{ぶぶん}に筆^{ふで}を押つけて溝^{みぞ}を作る。を一緒にやってみましょう。」

	「(3年生が2～3本やったら)次はやってみてください。」 〈1年生の作業の様子を見て、アドバイスや褒める言葉を言う〉 【 】
3年生	「次に(12)切った線に切り金を合わせ、三角形にカットする。を一緒にやってみましょう」 「(3年生が2～3つやったら)次はやってみてください。」 〈1年生の作業の様子を見て、アドバイスや褒める言葉を言う〉 【 】
3年生	「次は(12)切った線に切り金を合わせ、三角形にカットする。を一緒にやってみましょう」 「(3年生が2～3つやったら)次はやってみてください。」 〈1年生の作業の様子を見て、アドバイスや褒める言葉を言う〉 【 】
3年生	「次は(13)花びらの部分が丸くなるよう指でなぞる。をやってみましょう」 「(3年生が2～3つやったら)次はやってみてください」 〈1年生の作業の様子を見て、アドバイスや褒める言葉を言う〉 【 】
3年生	「次は(14)切り込み部分をヘラでおさえて、割れ止めをする。をやってみましょう」 「(3年生が2～3つやったら)次はやってみてください。」 〈1年生の作業の様子を見て、アドバイスや褒める言葉を言う〉 【 】
3年生	「次は(15)ドライヤーで2～3分乾かす。をやってみましょう」 「(道具を準備し) やってみてください。」 〈1年生の作業の様子を見て、アドバイスや褒める言葉を言う〉 【 】
3年生	「最後に(16)石膏型を外し、花びらの部分を丸スポンジで滑らかに整える。をやってみましょう」 「(3年生が2～3つやったら)次はやってみてください。」 〈1年生の作業の様子を見て、アドバイスや褒める言葉を言う〉 【 】
3年生	「これで完成です」 「完成したら、先生に確認をしてもらいます。」 「(実習室) 田中先生、確認お願いします。」／「(美術室) 佐野先生、確認お願いします。」
3年生 〈 〉	「時間になったので、片付けをしてください。」
全員	「(元気よく) はい！」

	1 年生と役割分担^{やくわりのぶんたん}をしながら、掃除^{そうじ}を行う。 （1 年生が何をすればいいか困^{こま}っているときは、3 年生から「〇〇してもらってもいいですか？」と声^{こえ}をかける。
3 年生 〈 〉	（掃除^{そうじ}が終わ^おったら もしくは 12 時になったら） 「整列^{せいれつ}してください。これから合同作業学^{ごうどうさぎょうがくしゅう}習^{しゅう}の反省^{はんせい}を始めます」 「（実習室^{じっしゅうしつ}）田中先生^{ねが}、お願いします。」／「（美術室^{びじゅつしつ}）佐野先生^{ねが}、お願いします。」 【先生からのコメント】
3 年生 〈 〉	（時間^{じかん}があったら、教室^{きょうしつ}にいる先生達^{せんせいたち}からコメントをもらう） 「〇〇先生^{ねが}、お願いします。」「〇〇先生^{ねが}、お願いします。」 【先生からのコメント】 「ありがとうございました。」 「これで合同作業学^{ごうどうさぎょうがくしゅう}習^{しゅう}を終わります。」 「お疲れ様^{つか さま}でした。」
全員	「（元気よく）お疲れ様^{つか さま}でした。」

りん か こ ば ち 工程表〔輪花小鉢〕

＜個人で準備する道具＞

粘土板（赤土用）、タオル2枚、さらし、ボウル（小）、さん板（小）、切り糸、粉、へら、丸スポンジ、切り針、ろくろ（小）、定規、砂袋、たたら板（5mm）、のし棒

＜机で1つ使用する道具＞

石膏型、切り金、型紙、筆

＜全員で使用する道具＞

黒スポンジ、トースカン、ドライヤー、タイマー

（１）粘土を切り糸で4cmに切り、叩いて長方形に整える。（型紙の幅くらい）



（２）粘土を叩いて楕円の形にする。

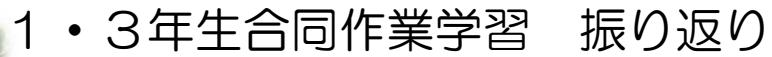


（３）たたら板を横に置き、のし棒を使って5mmに伸ばす。型紙を乗せながら確認する。

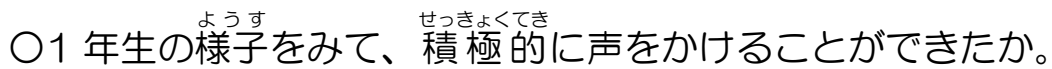
（４）粘土と石膏型に粉をふる。



(5) 型紙に合わせて、切り針をねかせて切る。	(6) 石膏型の上に粘土を置いて、石膏型の真ん中に合わせる。	(7) ろくろを回しながら、上側から順に手で粘土を押さえて、下まで石膏型に密着させる。	(8) 余っている粘土は指を使って少しずつしめて、密着させる。
			
(9) スポンジの上から手で「上側 中間→下側」を 軽く押さえる。 ※砂袋で叩く。	(10) トースカンで下から8cmのところを切る。	(11) 凹んでいる部分に筆を押し付けて溝を作る。	(12) 切った線に切り金を合わせ、三角形にカットする。
(13) 花びらの部分が丸くなるよう指でなでる。	(14) 切り込み部分をヘラでおさえ、割れ止めをする。	(15) ドライヤーで2～3分間乾かす。	(16) 石膏型を外し、花びらの部分を丸スポンジで滑らかに整える。
			



○1年生に丁寧^{ていねい}に教^{おし}えることができたか。



○1年生に^{おし}教えるときに^{たいへん}大変だったことはなにか。

○これから何かを教えるときに、^{おし}気をつけることはなにか。

--

2 学年 情報 単元計画

1 単元名 「プログラミング」

2 単元目標

(1)プログラミングについての基本的な知識と操作方法を身に付けるようにする。

【知識及び技能】

(2)問題を活用するために、必要な情報と情報技術を適切に活用することができる。

【思考力・判断力・表現力等】

(3)自分で取り組む課題を決め、プログラミングを行うことができる。

【学びに向かう力、人間性等】

3 本単元の評価の観点

基準 観点	S	A	B	C
知識・技能	プログラミングについて理解し、身近にある情報と情報技術に関連させてプログラミングの操作を行うことができる。	プログラミングについて理解し、基礎的な技術を身に付けることができる。	プログラミングについて知り、基礎的な技術を身に付けることができる。	支援を受けることで、プログラミングの操作を行うことができる。
思考・判断・表現	問題を解決するために、必要な情報と情報技術を適切かつ効率的に活用することができる。	問題を活用するために、必要な情報と情報技術を適切に活用することができる。	問題を解決するために、必要な情報と情報技術を活用することができる。	支援を受けることで、情報と情報技術を活用することができる。
主体的に学習に取り組む態度	自分で取り組む課題を決め、工夫しながらプログラミングを行うことができる。	自分で取り組む課題を決め、プログラミングを行うことができる。	支援を受けることで課題を選び、プログラミングを行うことができる。	支援を受けることで、プログラミングを行おうとすることができる。

4 育てたい力

- ・プログラミングに関する知識・技能
- ・もんだい解決するために試行錯誤する力

5 指導計画(2時間)

時間	学習内容	評価規準		
		知・技	思	態
1	・プログラミングとは ・身近にあるプログラム ・プログラミングの実践Ⅰ	○	○	
2	・様々なプログラミング ・プログラム実践Ⅱ		○	○

情報 学習指導案（略案）

単 元 名	プログラミング	指導日時	令和6年 9月30日（月）1 校時
題 材 名	プログラミングをやってみよう	学習場所	〇〇科教室
対象生徒	〇〇科4名、〇〇科4名 計8名	指 導 者	MT：木戸
本時の目標	・自分で取り組む課題を決め、プログラミングを行うことができる。		
時 間	学習活動内容	教師の指導	留意点/教材・教具
9：40～	・姿勢を正して挨拶をする。	・挨拶する生徒を募る。	TV、 Chromebook プログラミン グの補助教材
9：42～	○本時の学習内容の確認 ①前時の復習 ②新しい課題6種類についての説明 ③各自で課題を選び取り組む	・本時の学習内容をTVに映し見通し を持てるようにする。	
9：45～	① 前時の復習 ・プログラミングとは ・身近にあるプログラム ・前時の課題について	・前時に使用したスライドを活用して 振り返る。 ・身近にあるプログラムについて例 を挙げる。 ・前時に行った課題について、操作 方法や解き方を振り返る。	
9：55～	② 新しい課題6種類についての説明	・各課題について、実際に操作手順 を見せながら説明する。	
10：05	③ 各自で課題を選び取り組む	・取り組みたい課題を自由に選択し て行うように伝える。 ・分からない課題については、教師 に質問することや友だち同士で教え 合うように促す。	
10：25～	○発表	・2～3人発表を行う。	
10：30～	○本時のまとめ（半年間のまとめ） ・本時および半年間のまとめを聞 く。 ・姿勢を正して挨拶をする。 ・片付け	・本時の活動内容を伝える。 ・半年間の活動内容を伝える。	

生徒 A

課題 2 - 1



課題 2 - 10



課題 6 - 1



生徒 B

課題 2 - 1



課題 2 - 5



課題 2 - 9



生徒 C

課題 2 - 1



課題 2 - 5



課題 7 - 1



課題 7 - 2

プレイヤー

ターゲット

説明書

▶ プログラムを実行

```
1 cannon(180, 50);
2
```

課題 7 - 4

プレイヤー

ターゲット

説明書

▶ プログラムを実行

```
1 {cannon(270, 60);}
2 while(true){cannon(270, 60);}
```

1 学年 自学科 学習指導略案

単 元 名	自学科実習	指導日時	11月20日（水）2－4時間目
題 材 名	腰掛け・箸製作	学習場所	木工科（塗装室：研磨） （実習室：自動カンナ、横切り盤）
対象生徒	1 年木工科	指 導 者	〇〇、〇〇、〇〇
本時の目標	大きな声でお礼を言う。		
留意点	・機械操作の手順を確認する。 ・精神的配慮が必要な生徒への作業面に留意する。		
時 間	単元内容・計画	指導上の留意点	評価観点
9：40	○チャイム前に更衣を始める ○時間までに木工科教室に集合 ・服装の確認	・時間まで実習室に集合するよう促す ・身だしなみを生徒と一緒に確認する。	・身だしなみが整っているか。 ・お互いの身だしなみを確認しているか。
9:40 9:45 9:50	○日直による挨拶（塗装室） ○今日の内容 本時の単元説明 自動カンナの使用方法と注意事項 ・腰掛け製作（箸研磨と並行実施）	・挨拶方法を確認しながら始める。 ・指入れ・挿入口の、のぞき禁止を確認する。	・大きな声で挨拶できたか。 ・注意事項を確認できたか。
10:40	足材の厚さ出し(30mm) 材の向き確認 ※6本ずつで生徒交代〇〇さん→〇〇さんへ ・箸研磨を行う #100～#400まで	・材を掛ける向きを確認する。 自動カンナ：A教員 研磨作業：B教員 ・4面を均等に掛ける。 ※Aさんの負担を掛けないように本数を減らして取り組む。	・材の方向を確認できたか。 ・均等に研磨できたか。 ・配慮した取り組みができたか。
11:50	・横切り盤加工（寸法切り） 注意事項の説明（持ち方、立ち位置） むき：340mm×12枚 さん：295mm×12枚 座面：400mm×24枚 足：220mm×24枚 ※一人は箸研磨を行う ○作業終了 ・片付け、機械周りの清掃、塗装室清掃 ○実習日誌記入 ・目標と実施の振り返り ○反省	・横切り盤：A教員 ※入り口に発泡スチロール設置。 ※手のクロス置きを徹底する。 ※材の送りはゆっくり送る。 ※半分加工後、交代する。 ※立ち位置を確認する。 ※材の向きを確認する。 ※刃先と寸法目盛りを確認する。 ※Aさんと材と一緒に掴んで行う。 ※スイッチオン、オフの声掛けを忘れない。 - 箸研磨：B教員 ※言葉を掛け合って清掃分担する。 ※作業内容の振り返りを行う。	・各寸法毎に確認して加工できたか。 ・注意事項を守って作業に取り組めたか。 ※仲間と協力して清掃分担することができたか。 ※言葉を掛け合って取り組むことができたか。
12:25	○次週の説明 ・課題や反省事項	振り返り含めて説明	
12:30	○終了		

2学年数学 学習指導略案

学習内容	立体 宅配便の送料を求める		
日時	2024 年 11 月 18 日（月）1 h	場所	生産技術科2年教室
学習集団	2 学年 男子3名 女子1名	指導者	小笠原 泉
本時の目標	・直方体の縦と横、高さから、荷物のサイズを求めることができる。 ・サイズと送り先から、送料を求めることができる。		
時間	学習項目	生徒の活動	備考・留意点
9:00	挨拶	・代表の号令で挨拶をする。	・持ち物（ファイル、筆記用具）
	導入	○前時の学習内容を確認する。 ・箱の「たて・よこ・たかさ」の位置を学習した。 ・送料の求め方を学習した。 ○本時の内容と目標を確認する。	・ワークシート ・箱大小 10 個
9:05	展開	・ワークシート表面に取り組む。前回測った箱の数値から、サイズを求める。1 問目は全員で求め方を確認し、2 問目からは各自で取り組む。 ・全員終わったら教師と答え合わせをする。	・大きさの学習なので、重さは考えない。 ・サイズ表のみで難しい場合は、数直線を用いてサイズ区分を確認する。
9:15		・ワークシート裏面に取り組む。表面で求めたサイズを用いて送料を求める。1 問目は全員で求め方を確認し、2 問目からは各自で取り組む。 ・生徒それぞれのタイミングで教師と答え合わせをする。 ※ワークシートが終わった生徒については、以下の興味のある方を選択して取り組む。 ・教室内で、サイズ 160、180、200 に該当する大きさの物を探す。 ・直方体の体積を求めるワークシートに取り組む、問題を考えて模範解答を作る	・縦、横、高さが不安な生徒は、教員と一緒に確認して直接箱に記入する。 ・1 問ずつ、全ての問題が終わったらなど、各々の生徒の取り組みやすい方法で答え合わせをする。
9:45	まとめ	本時の学習内容を振り返る。 ・箱のたて、よこ、高さの位置を確認する。 ・正しくサイズを求められたか自己評価する。 ・送料の求め方を確認する。	・ゴミ箱や机などを直方体に見立てて考えること、2人以上で協力してよいことを伝える。

9:50	挨拶	・代表の号令で終わりの挨拶をする。	
------	----	-------------------	--

- ・体積の前段階として取り組んだ。体積はあまりなじみがないため、身近な宅配を取り上げた。
- ・どこが縦・横・高さなのかあやふやな生徒が大半だった。実物をたくさん測って慣れてほしいと考えた。実際にたくさんの箱を測ることで、縦・横・高さの位置を正しく理解することができた。
- ・実際に取り組んでみると、①各箇所の長さを測る ②合計する ③合計からサイズを求める（今回は重さは無視する） ④送り先とサイズから送料を求める という複雑な作業になってしまった。
- ・③合計からサイズを求めることについて、70cm はどのサイズに当てはまるかを表から求めることも難易度が高かったが、数直線を用いることで正しいサイズを求めることができた。

運賃一覧表（北海道から送るとき）

絵

サイズ	北海道	北東北	南東北	関東	信越	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄
	北海道	青森県 秋田県 岩手県	宮城県 山形県 福島県	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 神奈川県 東京都 山梨県	新潟県 長野県	富山県 石川県 福井県	静岡県 愛知県 三重県 岐阜県	大阪府 京都府 滋賀県 奈良県 和歌山県 兵庫県	岡山県 広島県 山口県 鳥取県 島根県	香川県 徳島県 愛媛県 高知県	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県	沖縄県
60	940	1,190	1,320	1,460	1,460	1,610	1,610	1,920	2,070	2,070	2,340	2,340
80	1,230	1,480	1,610	1,740	1,740	1,900	1,900	2,200	2,360	2,360	2,620	2,950
100	1,530	1,790	1,920	2,050	2,050	2,200	2,200	2,510	2,670	2,670	2,930	3,590
120	1,850	2,110	2,240	2,370	2,370	2,520	2,520	2,830	2,990	2,990	3,250	4,240
140	2,190	2,450	2,580	2,710	2,710	2,860	2,860	3,170	3,330	3,330	3,590	4,910
160	2,510	2,770	2,900	3,030	3,030	3,180	3,180	3,490	3,650	3,650	3,910	5,560
180	3,060	4,090	4,220	4,350	4,350	5,380	5,380	5,690	6,180	6,180	6,550	9,080
200	3,720	5,190	5,320	5,450	5,450	6,700	6,700	7,010	7,770	7,770	8,140	10,730

サイズ区分

サイズ区分			クール宅急便 料金
サイズ	3辺計	重量	
60サイズ	60cm迄	2kg迄	+275円
80サイズ	80cm迄	5kg迄	+330円
100サイズ	100cm迄	10kg迄	+440円
120サイズ	120cm迄	15kg迄	+715円
140サイズ	140cm迄	20kg迄	-
160サイズ	160cm迄	25kg迄	-
180サイズ	180cm迄	30kg迄	-
200サイズ	200cm迄	30kg迄	-

サイズの大きさの測り方

荷物（おももの）の大きさ（cm）は、
たて・よこ・高さの合計です。

荷物の大きさの測り方の絵

体積④

きょう もくひょう 今日の目標

- 宅配便の送料を求めることができる 2

• 「サイズ」と「送り先までの遠さ」で送料が決まります。

• 箱の「たて・よこ・高さの合計」または、「重量」の大きな方です。

送料はどのように決まりますか？

• 同じサイズなら、送り先が遠い方が、送料が高い。

• 同じ送り先なら、サイズが大きい方が、送料が高い。



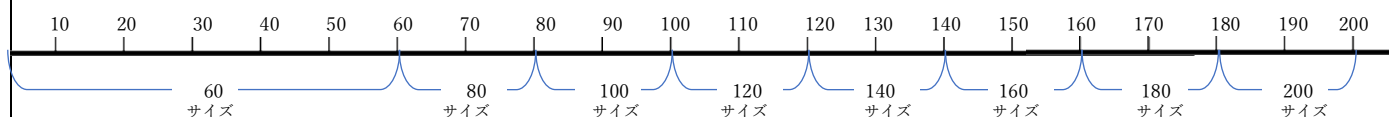
サイズを求めましょう。※重さは考えません。

⑥ たて33cm・よこ43cm・高さ9cm 合計 _____cm _____サイズ

⑦ たて25cm・よこ44cm・高さ29cm 合計 _____cm _____サイズ

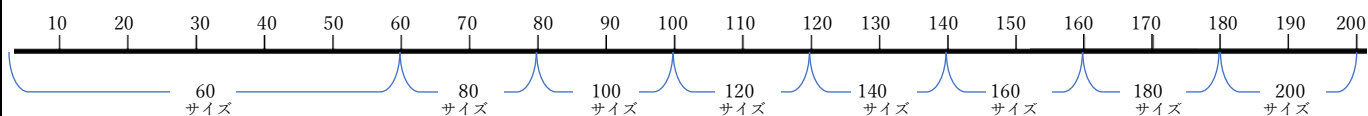
⑧ たて19cm・よこ21cm・高さ11cm 合計 _____cm _____サイズ

⑨ たて22cm・よこ22cm・高さ32cm 合計 _____cm _____サイズ



サイズを求めましょう。また、送料を求めましょう。※重さは考えません。

送り先	たて cm	よこ cm	高さ cm	合計 cm	サイズ	送料
①北海道						円
②茨城県						円
③石川県						円
④兵庫県						円
送り先	たて cm	よこ cm	高さ cm	合計 cm	サイズ	送料
⑤徳島県						円
⑥岡山県	33	43	9	85		円
⑦長崎県	25	44	29	98		円
⑧山形県	19	21	11	51		円
⑨秋田県	22	22	32	76		円
⑩東京都						



振り返り

- 箱の「たて・よこ・高さ」を求めることが

できましたか？



- 宅配便の送料を求められましたか？

